

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	臨床微生物学総論					
担当教員	○小松 方 福田砂織					
目的	感染症と微生物学の歴史の変遷を学び、強毒菌感染症から日和見感染症までの感染防御の考え方について理解する。感染症の原因となる微生物について、発症メカニズムや感染経路、微生物の基本構造と代謝および検査法の原理を学ぶ。抗菌薬療法の概念と抗菌薬の分類、抗菌薬の耐性機序、ワクチンについて学ぶ。単に菌の分離同定や薬剤感受性検査の知識を習得するだけでなく、検査結果を用いた感染症診断および抗菌薬選択に関する助言、感染症や抗菌薬感受性情報の臨床サイドへのフィードバック等ができる能力を備えるために学ぶ。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の構造から形態学的に判別できること、菌の発育に伴う代謝と変異を通してその機能を説明できる。 ・病原微生物の形態と培養方法および生化学的特徴に基づいた病原微生物の同定方法を説明できる。 ・病原微生物に対する化学的治療法や予防法を説明できる。 ・感染症の歴史の変遷を知り、現代感染症の特徴を説明できる。 					
他科目との関連	臨床微生物検査学各論Ⅰ、臨床微生物検査学各論Ⅱ、臨床微生物検査学実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験点数				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	微生物学/臨床微生物学（臨床検査学講座）第3版 医歯薬出版					
参考資料	微生物学・臨床微生物学ーガイドライン対応 臨床検査知識の整理 医歯薬出版 臨床微生物検査ハンドブック第3版 三輪書店					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						